KATO Report

第**126**期 中間報告書 2024/4/1 ▶ 2024/9/30 **ЖАТО 禁加藤製作所** 証券⊐ード: 6390

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を 賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第126期中間期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長 か藤公康

上期(2024.4月~2024.9月)の振り返り

今期は現在推進している3ヵ年の中期経営計画の仕上げの年となることから、これまで着手してきた各施策を着実に進めるとともに、収益性の安定強化に向けた調達・製造・販売各部門の一層の連携強化を課題に掲げ取り組んでおります。

上期の当社グループの業績につきましては、国内での大型建設用クレーンにおいて一部の部品不足に伴う販売延期の影響や米国大統領選挙前の買い控え等もあり、結果として連結売上高は前年同期から約10%の減収となりました。

一方、中期経営計画で掲げた「スリムで骨太体質への変革」は着実に浸透しており、営業利益および経常利益につきましては、黒字化が定着しております。

なお、11月8日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にてお伝えのとおり、今期の親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、7月に公表しました中国子会社2社の解散および清算に伴う特別損失(子会社整理損) 61.8億円を計上したことにより、一時的に厳しい数値を見込んでおります。しかしながら、現下の事業環境から、来期以降の連結業績と資本収益性のさらなる改善を図るうえでは、本件は必要な経営判断であったと認識しております。

■ サステナビリティ経営について

サステナビリティ活動については、環境・人事分科会を両輪に精力的に取り組んでおります。環境分野では、かねてより開発を進めてきた「ハイブリッドラフター」の受注を11月より開始いたしました。CO₂の排出量を大幅に低減しつつ、エンジンと電気の併用により、オペレーターの方々に安心してお使いいただける製品であると自負しております。

人事分野では、一層の女性活躍を後押しすることを目的にメンバーを召集し 委員会発足に向けた準備を進めており、職場環境の改善や仕事と家庭を両立す るための仕組みや制度の改善等の協議を行っています。

今後もサステナビリティ経営を積極的に推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

■ 下期の取り組みについて

下期につきましては、現在着手している海外事業ポートフォリオの見直し(中国事業の整理・インド事業の早期立ち上げ)を推進し、次期中期経営計画の策定を併せて進めてまいります。

前述の特別損失計上に伴い、今期は最終赤字となる見通しですが、当該損失は一過性のものであり、足元において当社の"稼ぐ力"は着実に付いてきていると実感しております。従いまして今期の中間配当金につきましては8月9日公表の「配当予想に関するお知らせ」に基づき、1株あたり35円といたしました。

今後も収益性の改善に努め、一層の株主還元強化に繋げていく方針ですので株主の皆さまにおかれましては引き続き、当社グループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期連結業績予想の修正について/連結業績ハイライト

通期連結業績予想の修正について (2024年11月8日公表)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回予想(8月9日公表)	70,000	2,100	1,500	△ 5,400
今回修正予想(11月8日)	61,500	1,500	1,600	△ 4,200
増減額	△ 8,500	△ 600	100	1,200
前期実績	57,498	1,654	2,575	4,235

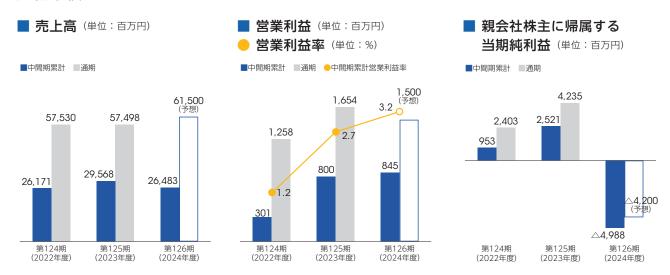
【 売 上 高 】 国内需要が当初想定から下回り、欧州主要各国のエネルギー価格の高止まり等により△85億円

【 営 業 利 益 】 売上高減少に伴い△6億円

【 経 常 利 益 】 受取賃貸料の増加等+1億円

【親会社株主に帰属する当期純利益】 中国事業での特別損失(子会社整理損)が前回予想の概算70億円から縮減し12億円改善

連結業績ハイライト



TOPICS 01

世界初ハイブリッドラフター* SR-250HV 受注開始!

「適正な価格で、充電切れの心配がなく、CO2排出量削減が可能なクレーン車」を開発目標に、エンジン&電動モータによるハイブリッド方式で走行し定地定速走行時には、同クラスのエンジン機に比べ最大約40%のCO2削減効果を実現しました。

また、グリーンエネルギー(太陽光・風力・水力等)由来の電力を確保可能な建設現場では、標準付属品の外部電源油圧ユニット「EK-UNIT」を使用することによりクレーン作業時の実質的なCO2排出量をゼロにすることが可能となります。

※「ラフター」とは、運転席とクレーン操縦席が一体の建設用クレーン車であるラフテレーンクレーンの愛称であり、当社の登録商標です。

注1 SR-250HV単体でハイブリッド走行およびクレーン操作が可能

注2 EK-UNIT利用により、電動のみでクレーン作業が可能



TOPICS 02

全旋回式クローラキャリア IC70R

- ・2024年度 グッドデザイン賞受賞
- ・日刊工業新聞社 第54回機械工業デザイン賞IDEA審査委員会特別賞受賞



当社の全旋回式クローラキャリアのIC70Rが2024年度のグッドデザイン賞および日刊工業新聞社主催の第54回機械工業デザイン賞IDEAの審査委員会特別賞を受賞しました。

クローラキャリアは不整地や軟弱な地盤での資材・土砂等の運搬作業に適しており、主に林業や土木事業で用いられております。本機は機体上部が固定式であった従来機を全旋回式に改良したものであり、安全かつ快適な作業を両立させた点が高く評価されました。

会社情報/株式情報(2024年9月30日現在)

■ 会社概要

商号株式会社 加藤製作所英文商号KATO WORKS CO., LTD.創業1895年(明治28年)設立1935年1月(昭和10年1月)本社東京都品川区東大井1丁目9番37号

■ 株式の状況

発行可能株式総数46,800,000株発行済株式総数11,732,795株
(自己株式10,792株を除く。)株 主 総 数9,065名

■ 株式の所有者別状況



※ 個人・その他には自己株式10,792株が含まれております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さま向けのIR 情報をはじめ最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

https://www.kato-works.co.jp/

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	652	5.56
清原達郎	575	4.90
株式会社りそな銀行	573	4.89
加藤公康	350	2.99
SIX SIS LTD.	301	2.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託□)	276	2.36
加藤製作所従業員持株会	228	1.95
日本生命保険相互会社	228	1.94
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	210	1.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	192	1.64

(注) 持株比率は、自己株式 (10,792株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日~翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関 (同連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 50 ,0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00-17:00)

KATO 紫加藤製作所

本社 〒140-0011 東京都品川区東大井1丁目9番37号

TEL: 03-3458-1111





